

ユビキタスセンサを利用した 人間情報システムの研究



情報システム工学講座
教授 鳥山 朋二



情報システム工学講座
講師 浦島 智

研究分野

ユビキタスセンサ、センサネットワーク、遠隔コミュニケーション、介護支援、
自動車運転分析・技能評価、看護師業務支援、高齢者遠隔見守り

研究内容

人間の行動を習得するためのセンサ技術やコンピュータ利用技術、その情報を集約するためのネットワーク技術を基本技術として、先進的なソフトウェア応用技術を用いることで、様々な分野で利用できる情報システムの開発を行っています。具体的な応用分野として、医療看護支援やITS分野を選び、現場と連携しながら利用価値の高い製品の開発につながる研究開発を行なっています。

私達の研究のポイント

人の行動を取得するセンサは身の回りに多くあり、カメラやマイクもその一つと言えます。私たちはこれら様々なセンサの組み合わせにより得た情報から、自動識別技術を用いて「いつ、誰が、どこで、何を」していたかを判別します。これらの情報をもとに、例えば、高次脳機能障がい者向けの自動車運転評価システム、看護師向け指差し呼称検知システム、高齢者見守りシステムなどを開発しています。また、識別した行動を互いに提供することにより、より親密な遠隔コミュニケーションを可能とするシステムの開発も行っています。この技術は他の様々な分野へ応用可能なものと考え、さらなる応用についても検討を進めています。

REPORT レポート

- ①自動車運転評価システム ②指差し呼称検知システム ③高齢者見守り（車いす危険行動検知）
④高齢者見守り（生活空間乱雑度自動評価）

